

# 大崎市 議会 だより



第77号

令和5年5月1日発行

- トピックス…………… 2～3
- 議案審議…………… 4～7
- 会派代表質問…………… 8～13
- 予算特別委員会…………… 14～18

今回の定例会は



イースターエッグみつけた!  
松山公民館

&lt;前年度比47億円減&gt;

634億2,000万円

企業会計予算 総額 1,382億3527万円

トピックス  
商工関連

関連記事は16ページへ

- ・ 産業創造推進事業 3,363万円

**Q** おおさき産業創造推進機構設立の効果は

**A** 各専門支援機関と連携を強化し、機構が触媒となり、更なる支援の加速、強化に繋がると考えている。

トピックス  
土木関連

関連記事は17ページへ

- ・ 陸羽東線塚目駅周辺整備事業 8,057万円
- ・ 排水路改良整備事業 2億3,000万円

**Q** 緊急浚渫推進事業は令和6年までの時限事業だが進捗は

**A** 令和5年度は市内30箇所予定している。進捗率は27.6%だが予算配分の中で、計画を見直ししながら浸水被害の軽減に努める。

トピックス  
病院関連

関連記事は16ページへ

- ・ 病院事業会計 293億7,596万円

**Q** 令和5年度以降、人件費等の固定費が増加するが、経営をどのように効率化し黒字を目指していくか

**A** 令和5年度の人材確保は地域医療を支える為に重要な先行投資。効率的な費用、予算執行は当然のこと、人材育成し一層質の高い医療を提供することに貢献し、健全経営に努める。

令和5年第1回定例会（令和5年2月10日～3月3日）

成立

# 令和5年度 大崎市一般会計予算

他 特別会計・

トピックス

トピックス  
総務関連

関連記事は14ページへ

- ・ 三本木庁舎大規模改修関連 1億3,920万円
- ・ 地域活力再生イベント支援事業 1,003万円

**Q** 5月の新型コロナ5類移行に伴い、今後の支援要件の緩和策は

**A** 1年だけでイベント復活は困難と思っている。例えば、キャッシュレス決済の活用など、幅を広げ支援する。

トピックス  
民生関連

関連記事は15ページへ

- ・ 障害者福祉サービス事業 23億4,452万円
- ・ 介護保険対策事業 20億0,796万円

**Q** 介護保険施設整備整備のスケジュールと介護人材のマンパワーは

**A** 令和6年3月末まで開設する協定を結んでいる。  
プロポーザルで厳正に審査した。尚、社会情勢を考慮し市独自の支援で補助金を出し、人材確保にも活かされると確信する。

トピックス  
農業関連

関連記事は17ページへ

- ・ 新規就農総合支援事業 7,280万円



支援対象のドローン

# 令和5年 第1回定例会

詳しくはこちらへ



今定例会には、市長提出の令和5年度大崎市一般会計予算をはじめとする予算案23件、条例案12件、報告3件、人事案件4件、その他10件及び、議員提出議案4件が提出され、このうち、議案第49号は賛成少数で否決となりました。その他の議案は原案のとおり承認、同意、可決されました。  
 また、請願1件の審査も行われ、請願第1号は不採択となりました。  
 ※議案第3号～第34号までは、予算特別委員会に付託し審査しました。

議案審議（こんな事を議論しました）

		件名	審議結果
報告	報告第1号～第2号	工事請負契約の変更契約の締結について	—
人事	諮問第1号～第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案同意
専決処 承認	議案第1号	令和4年度大崎市一般会計補正予算（13号）	原案承認
人事	議案第2号	教育委員会委員の任命について	原案同意
新年度予算	議案第3号	令和5年度大崎市一般会計予算	原案可決
	議案第4号	令和5年度大崎市市有林事業特別会計予算	
	議案第5号	令和5年度大崎市奨学資金貸与事業特別会計予算	
	議案第6号	令和5年度大崎市夜間急患センター事業特別会計予算	
	議案第7号	令和5年度大崎市国民健康保険特別会計予算	
	議案第8号	令和5年度大崎市後期高齢者医療特別会計予算	
	議案第9号	令和5年度大崎市介護保険特別会計予算	
	議案第10号	令和5年度大崎市宅地造成事業特別会計予算	
	議案第11号	令和5年度大崎市工業団地造成事業特別会計予算	
	議案第12号	令和5年度大崎市水道事業会計予算	
	議案第13号	令和5年度大崎市下水道事業会計予算	
	議案第14号	令和5年度大崎市病院事業会計予算	
	条例	議案第15号	
議案第16号		大崎市犯罪被害者等支援条例	
議案第17号		大崎市地区集会所条例の一部を改正する条例	
議案第18号		大崎市都市計画税条例の一部を改正する条例	
議案第19号		大崎市手数料条例の一部を改正する条例	
議案第20号		大崎市公共物管理条例等の一部を改正する条例	
議案第21号		大崎市障害児就学指導審議会条例の一部を改正する条例	
議案第22号		大崎市古川保健福祉プラザ条例の一部を改正する条例	
議案第23号		大崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び大崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第24号		大崎市障害者地域活動支援センター条例等の一部を改正する条例	
議案第25号		大崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例	
議案第26号		大崎市建築基準条例の一部を改正する条例	

そ の 他	議案第27号	権利の放棄について	原案可決
	議案第28号 ～第29号	指定管理者の指定について	
	議案第30号	指定管理者の指定期間の変更について	
	議案第31号	宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	
	議案第32号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	
	議案第33号	宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	
	議案第34号	市道の路線の廃止及び認定について	
条 例	議案第35号	大崎市議会議規則の一部を改正する規則	
報 告	報告第3号	工事請負契約の変更契約の締結について	—
補 正 予 算	議案第36号	令和4年度大崎市一般会計補正予算（第14号）	原案可決
	議案第37号	令和4年度大崎市奨学資金貸与事業特別会計補正予算（第1号）	
	議案第38号	令和4年度大崎市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	
	議案第39号	令和4年度大崎市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
	議案第40号	令和4年度大崎市介護保険特別会計補正予算（第3号）	
	議案第41号	令和4年度大崎市工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	
	議案第42号	令和4年度大崎市水道事業会計補正予算（第2号）	
	議案第43号	令和4年度大崎市下水道事業会計補正予算（第5号）	
そ の 他	議案第44号	令和4年度大崎市病院事業会計補正予算（第4号）	原案可決
	議案第45号	工事施行協定の変更協定の締結について	
意 見 書	議案第46号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	原案可決
	議案第47号	免税軽油制度の継続を求める意見書	
	議案第48号	学校給食費の無償化を求める意見書	
人 事	議案第49号	インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延長を求める意見書	否 決
	議案第50号	副市長の選任について	原案同意
補 正 予 算	議案第51号	令和5年度大崎市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
請 願	請願第1号	大崎市役所前の黒松の伐採・撤去方針を撤回し歴史的遺産としての保存を求める請願	不採択

## 傍聴者人数

第1回定例会  
19人

議会中継(LIVE)  
アクセス件数

第1回定例会  
2,806件

## 第2回定例会の予定

次の定例会の予定は、令和5年6月15日から29日までを予定しています。

## ご意見・ご感想をお寄せください

議会だよりについて、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡下さい。

発行 大崎市議会 〒989-6188 大崎市古川七日町1番1号  
TEL 0229-23-2236 FAX 0229-23-1013  
E-mail gikai@city.osaki.miyagi.jp

メール送信はこちらへ



## 請願審査

### 件名

請願第1号 「大崎市役所前の黒松の伐採・撤去方針を撤回し歴史的遺産としての保存を求める請願」

### 審議結果

不採択とすべきもの

### 経過

- 令和5年2月10日の本会議において、総務常任委員会付託とした。
- 総務常任委員会において、2月10日、16日、24日、27日（計4回）に亘り審査を実施した。
- 3月3日の本会議に、委員会審査の経過及び結果が委員長より報告された。
- 委員長報告に対し1名から質疑があり、採択に対し、反対と賛成各1名、合計2名が討論を行い、表決の結果、不採択と決定した。

### 補足

予算特別委員会において、議案第3号に対し、本庁舎があった場所の歴史的価値を今後も継承し生かして欲しいとの市民の声に十分に配慮するという附帯決議が提出され、全会一致で可決した。

## 討論 請願第1号 大崎市役所前の黒松の伐採・撤去方針を撤回し歴史的遺産としての保存を求める請願

（請願趣旨）大崎市の歴史を語り継ぐ大事な歴史的遺産として、黒松の伐採・撤去方針を見直し、保存すること

### 請願採択に賛成の討論

あの大崎市役所前の旧古川代官所跡、郡奉行所・会所跡は、歴史的に重要な場所である。今後、市民の要望が上がれば検討して指定文化財にする事はあり得るものとする。よって、歴史的価値のある遺産の継承をという市民の声に応えるために、請願を採択すべきであるとする。

### 請願採択に反対の討論

現在の本庁舎がある場所は、歴史的な場所であるという事は私も十分に認知している。しかし、歴史を残すという事は、心の中に残す事が大切であって、木を残すという事にはならない。

附帯決議には、是非、その心よりどころとしてそれを残していただきたいという思いが込められていると理解しており、その意味で、請願不採択は、正しい判断だと考える。

## 意見が分かれた議案の賛否一覧

議案第3号 令和5年度大崎市一般会計予算

議案第49号 インボイス制度(適格請求書等保方式)実施延期を求める意見書

請願第1号 大崎市役所前の黒松の伐採・撤去方針を撤回し歴史的遺産としての保存を求める請願

議員名	議決結果	藤本 勘寿	小嶋 匡晴	小玉 仁志	山田 匡身	加川 康子	法華 栄喜	石田 政博	早坂 憂	伊勢 健一	鹿野 良太	佐藤仁一郎	八木 吉夫	佐藤 弘樹	中鉢和二郎	相澤 久義	鎌内つぎ子	木村 和彦	横山 悦子	遊佐 辰雄	只野 直悦	富田 文志	後藤 錦信	氏家 善男	木内 知子	小沢 和悦	佐藤 勝	佐藤 講英	関 武徳	
議案第3号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	欠	○	○	○	○	×	×	○	○	議
議案第49号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	欠	×	×	×	○	○	×	×	議	
請願第1号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	欠	×	×	×	○	○	×	×	議	

「可」→可決、「否」→否決、「○」→賛成、「×」→反対、「欠」→欠席、「退」→退席、「議」→議長

## 第1回定例会 議案審議

令和5年第1回定例会の議案審議は、2月10日、3月2日、3日の3日間で10人が質疑を行いました。議案質疑の要旨については次のとおりです。

### 出産・子育て応援給付金給付事業

**問** 事業内容について。

**答** 妊婦から出産するまで継続した形で支援をしていくものであり、母子手帳交付時に保健師が面談をしながら、経済的給付として5万円、出産する時点でも同じく新生児訪問等を行いながら、5万円で、子ども1人当たり10万円の給付を行う事業である。

### 徴収経費

**問** 納税組合経費の内容、減額理由について。

**答** 内容は、納税貯蓄組合連合会の解散により、交付金がなくなったこと。また、各地域にある単位組合が当初計上よりも解散し減った事による減額である。

### 外国語指導助手配置事業

**問** 減額理由について。

議案審議（こんな事を議論しました）

**答** 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学校の休業、学級閉鎖により、ALTの配置が出来なかったこと。

### 学校給食費、需用費、賄材料費

**問** 減額理由について。

**答** 各学校等の行事によって給食実施回数が増減したため、賄材料費を減額するものである。

**問** 保護者が負担している給食費も減額になっているが、保護者への返金という理解でよいか。

**答** 学校給食徴収金は、10期に分けて納めて頂いており、実施回数減少分については基本的に10期目で調整、精算している。

よって、返金ではなく10期目で調整した金額を支払う事となっている。

### 三本木庁舎大規模改修事業

**問** 事業内容について。

**答** 三本木庁舎第2駐車場の整備工事であり、NOSAI宮城の職員用駐車場を整備するものである。事業の内訳は、当該用地の整地、舗装、区画線表示、照明灯設置であり、こちらの費用はNOSAI宮城が負担する事になる。また、県道

からの乗り入れ道路の整備や誤進入防止のためのフェンス設置費用は市が負担するものである。

### 本庁舎建設事業

**問** 約1億8千万円の減額理由について。

**答** 工事請負契約の変更契約の締結により、建築工事、電気設備工事、機械設備工事や地中熱空調設備工事の変更により減額するもの。

### 施設解体工事費

**問** 補正内容について。

**答** 岩出山城山公園にある蒸気機関車の解体撤去費の減額補正である。

**問** 解体、保存を決定した事ではなく、今回は解体をやめて様々な意見を聞いてから改めて方向性を考えるという理解でよいか。

**答** 解体する方針で決定したが、その後、地域団体から保存に対する要望があり、その協議が継続中である。一旦、予算を皆減し、白紙の状態に戻す内容となっている。

# 会派代表質問

令和5年第1回定例会は、2月10日に招集され、3月3日までの22日間の日程で行われました。

本市議会では、第1回定例会に限り会派代表質問を実施しており、2月13日、14日の2日間にわたり7会派の各代表議員が、市長の見解を質しました。



## 新生会

後藤 錦信

### 令和5年度市政運営

**問** 予算編成にあたり留意した点、持続可能な市政運営をどう検討したのか伺う。

**答** 様々な影響により、地域経済の見通しが難しく、厳しい財政状況にある中で、の予算編成となった。

持続可能で安定的な財政基盤の確保を、目指して財政健全化に取り組み一方で、地方創生の推進や、新たな地域課題に取り組み為の十分な検討、調整が行えるよう、例年より2ヶ月ほど前倒しして予算編成に取り組んだ。財源の確保に最大限努め、財政調整基金への依存度を引き下げよう努めてきた。

**問** 施政方針から意気込みが感じられませんが、国が進めようとしている異次元の少子化対策についての考えを伺う。

**答** 経済的な支援は全国的に統一された制度として、国が行う事が基本と考えられている。国の議論の動向に注目しながら、安心して子育てが出来る事業を、切れ目なく展開していく。

### 公設日本語学校の開設

**問** 令和7年4月開校に向けて、明確なビジョンと戦略、運営面における地域や関係団体との連携について伺う。

**答** 日本語学校を核とした多文化共生のまちづくりを推進していく事が、最も重要な視点、ビジョンと捉えている。

また、留学生の生活の基盤を支える為に、地域の方々や医療、保健機関、金融、商工関係団体が、一体的にサポートしていく関係性を構築し、生活全般の困り事等に、細やかに対応出来る運営体制を整えていく。

### 産業振興計画後期計画の推進

**問** おおさき産業推進機構による新産業創造支援が位置付けられているが、目指す今後の展望について伺う。

**答** 現在、関係団体による大崎市産業支援のあり方に関する検討委員会を立ち上げ、基本構想を策定中である。

持続可能な地域づくりを目指し、地域内外の産業支援機関や、産学官金との連携を基に、地域全体でイノベーションを生み出すビジネス環境の構築、更には地



域の課題である人材確保や、育成機能の充実等を図る産業支援機関として、令和5年度内に設立、6年4月の事業開始を目指している。

### 誇りある農業の振興

**問** 令和5年はササニシキ誕生60周年の記念の年であり、ささ系の需要拡大を望んでいるが、ささ結の作付面積増と、輸出戦略の方策を伺う。

**答** 生産量が、求められている需要に対応出来ていないため、5年度の作付目標面積150ha達成に向けて、栽培面積の拡大を図りつつ、また、海外に向けた積極的なPRを実施し、新たな需要拡大を目指していく。

### 訪れたいくなる観光の振興

**問** 陸羽東線を本市の宝と捉え、これを基軸とした観光戦略と、古川駅の再構築について伺う。

**答** 本市最大の観光地である鳴子温泉郷にとっても、陸羽東線の存続が欠かせず、列車を活用して魅力ある市内を周遊出来る観光の実現と、古川駅観光案内所の利

便性の向上、そして商業施設跡地の利活用についても協議を重ねていく。



JR 陸羽東線（岩出山駅）

## 創 新 会

佐藤 仁一郎

### ICT活用による業務効率化

**問** 会派で視察した栃木県宇都宮市では、市道や河川の危険箇所等の状況把握についてアプリを導入し、早期対応に努めている。本市でも導入できないか。

**答** 大崎市では、電話やメール等で寄せられた道路の情報を基に現地へ赴き、状況を確認した上で補修方法を検討し対応している。宇都宮市のような通報システムについては、早期の把握や対応により市民生活の安全・安心が図られる事が期待されるが、運用面でのメリット・デメリ

ットを勘案しながら調査研究する。

### 部活動の地域移行

**問** 本市における部活動の地域移行に関する所見を伺う。

**答** 子ども達の多様なスポーツや文化活動の場と機会の確保を図るため、令和5年度より教育部生涯学習課内に学校部活動地域移行推進室を新たに設け、学校現場、保護者及び地域のスポーツ関係者のご意見を伺いながら、課題を整理するとともに、仮称「大崎市部活動地域移行推進協議会」を設置し、方向性、解決策を協議することで、休日の部活動地域移行の早期実現を目指したい。

### 大崎圏域の医療提供体制構築

**問** 夜間急患センターを含む地域医療連携拠点施設整備に向けた今後の政策展開について伺う。

**答** 現在、大崎地域1市4町において、首長及び公立病院長による協議会を設置し、公立病院経営強化プランの策定に取り組んでいる。急性期を大崎市民病院本院で、回復期を周辺の各病院で担い、地域全体

会派代表質問（市長に聞きました）

会派代表質問（市長に聞きました）

で医療を完結する体制整備が必要と考える。整備にあたっては、令和5年度に大崎地域1市4町で連携協約を締結し、8年度の移転、開設を目指す。

大崎市の観光振興

**問** 令和4年に産業常任委員会で視察した岐阜県下呂市では、観光地域づくり法人（DMO）を設立し重要な役割を果たしていたが、本市での設立について伺う。

**答** 大崎市では設立まで至っていないものの、一般社団法人みやぎ大崎観光公社が旅行商品の造成や情報収集分析を担っている。本市には、東北でも有数の資源を持つ鳴子温泉郷があり、今後の持続的な発展に向けて、自発的な観光経営の視点が必要であるため、鳴子温泉郷観光協会と共に研究したい。

手話言語利用を促進する条例

**問** 大崎市障がいのある人のコミュニケーション手段の利用を促進する条例が、令和元年6月の第2回定例会で制定されたが、今後の取り組みについて伺う。

**答** 大崎地域の1市4町合同事業で手話

奉仕員の養成講座を実施している。これまでに講座を修了し、大崎市手話奉仕員に登録をしている53名には毎年フォローアップ研修を案内し、スキルアップの機会を提供している。事業を継続しながら市民への周知啓発を図り、障害のある人のコミュニケーションを支援していく。



議会棟に掲示しているゆびもじ・手話 50音

日本共産党大崎市議会議員団

小沢 和悦

子育て支援策の充実・強化

**問** 市長施政方針の中に子育て支援に触れる言葉は一つも無かった。令和4年大崎市では出生者数622名に対し、死亡者数は1791名と、自然減は1169名だった。この様な、地域社会が無くなる危険を打開しなければならぬと考えますが、所見を伺う。

**答** 全国的な問題であり、本市においても重要な課題であると認識している。

聴こえくつきり事業を始めること

**問** 山形市が令和4年12月から補聴器購入助成を含む「聴こえくつきり事業」を開始した。大学医学部や医師会、言語聴覚士会、認定補聴器専門店等が連携して進めるといふもの。話が聞こえないとみんなの会話に入っていない、孤立しがちななり、老化や認知症の原因にもなる。参事にして大崎市でも検討してはどうか。

**答** 効果の検証を行いながら、国の動向を参考にし、引き続き検討する。

三本木パークゴルフ場の料金

**問** 三本木パークゴルフ場の高齢者の入場料を医療、介護に要する公費負担軽減対策に繋がる様に、負担しやすい料金にしてはどうか。

**答** 現在はコースの一部を閉鎖しているため、入場料を低く設定している。今後とも公平性を確保した上で、適正な入場料となるよう指定管理者と協議していく。

### 学校給食無料化の実現は

**問** 4月から、富谷市、栗原市、気仙沼市、南三陸町等が小中学校給食費無料化に踏み出すほか、角田市は第2子以上は無料、名取市は中学生を無料、利府町も小学6年と中学3年の給食費無料に踏み出す。大崎市は学校給食無料化に後ろ向きだということか。

**答** 学校給食法第11条に沿って対応する。  
**問** 国では、学校の設置者である自治体でやってくれと言っている。国と自治体が高い合い、一歩も進まなかったら、少子化、教育費の負担は減らない。一歩足を踏み出して国に求めていくつもりはないか。

**答** 他の自治体の例を踏まえ、独自の判断をした。子育ての課題は全国的であり、積極的に要望していく。



学校給食の無料化をめざすシンポジウム

### 改新クラブ

中鉢 和三郎

#### 新年度予算への思い

**問** 新年度予算に名前を付けるとすればどうなるか。

**答** 「本市の未来に向かって跳躍する為の予算」と名づけさせていただく。

**問** 市長が、新年度で最も思いを込めている事業は何か。

**答** 新たな行政課題に挑戦し、跳躍する為の新たな種となる施策に着手しており、具体的に挙げれば、公設日本語学校設置、ジビエの郷づくり事業を通じた有害鳥獣対策と新たな特産品開発、おおさき産業推進機構設立、流域治水対策推進及び陸羽東線の再構築である。

#### 少子化対策としての子育て支援

**問** 本市は、周辺市町村と比較し子育て支援が充実していないとの声もあるが、客観的事実はどうか。もし真実だとすれば改善すべきであり、真実でないとしても、正しく発信すべきだがどうか。

**答** 本市の子育て環境は、市内に産科、小

児科及び大崎市民病院周産期センターがあり、出産、子育てに関する医療分野で充実していると考えている。また、家庭児童相談事業等により、個別の相談支援や子育て支援のネットワークづくりを行っているほか、保育施設は、受皿拡大を図り待機児童の状況を改善してきた。更に、放課後児童クラブについても運営を委託する事で、保育の質の向上を目指した取り組みを進めている。なお、子育てしやすいまちのアピールは課題であり、今後、効果的な発信方法を検討していく。

#### 財政規律

**問** 合併事業最後で最大となる市役所本庁舎建設事業が終了した。それにより、普通建設事業に充てられる財源は限られたものとなっている。しかし、市民要望は、都市公園、文化施設や交流施設としての道の駅など、施設整備への期待は大変大きい。財政規律を維持しながら、拡大し多様化する市民要望にどの様に応えていくのか所見を伺う。

**答** 新規公共施設の整備は、持続可能な市政運営にあたり、真に必要な施設であるか、持続可能な運営がなされるのか

会派代表質問（市長に聞きました）

ど個別内容を十分精査し、これまで以上に慎重に取り組み必要がある。地域の声を聞きながら、国等の補助制度の活用や運営方法、維持管理コスト等を踏まえ、総合的に検討を行い判断していく。



新市建設計画最後の市役所本庁舎建設は完了

大志会

相澤 久義

JR陸羽東線は存続か廃止か

**問** 利用客の減少はモータリゼーションの影響が大きいと考えるが、存続または廃止した場合のメリット、デメリットを伺う。

**答** 陸羽東線は、本市の公共交通の基軸である。JR路線として存続を前提に取り組んでいる。メリットは、ネットワークと全国への発信力が大きく、観光利用者

への影響力はJRをおいて他にない。列車運行にあたっての安全、確実、正確性の確保は右に出るものはないと認識している。

一方で、第3セクターや上下分離方式を採用した場合、本市の負担となる。例えば、昨年復旧したJR只見線は、路線の一部である約28km弱（古川鳴子間約30km）の距離の自治体負担額は数億円である。現在の運営体制を前提に、各地域懇談会等からの意見提言等を踏まえ利用促進に努めていく。

**問** 現在目指している石巻酒田間の高規格道路整備促進に沿道市町村議会間協議が始まっているが、開通した場合、鉄道より便利と思われるが、考えを伺う。

**答** 高規格道路が開通した場合、東西物流の大動脈として産業や観光等の発展に大きな効果が期待される。陸羽東線存続と高規格道路の早期整備に努めていく。

持続可能な畜産農家

**問** 飼料高騰により赤字経営に苦しむ畜産農家への救済措置について伺う。

**答** 市の対策は、畜産経営の影響を少しでも緩和させるため、令和4年10月から

畜産飼料価格高騰対策支援事業を実施し、現在支援金を交付している。また、国では従来の配合肥料価格判定制度とは別に特別補填を10月から12月分の配合飼料を対象に実施しており、5年1月から3月分も継続する方針が示されている。市としても、支援の状況や飼料価格の推移等を注視しつつ、関係機関とも随時協議していく。

NEXT

鹿野 良太

目指すべき大崎市の姿

**問** 市民所得アップに向けて、産業政策が担う責任について伺う。

**答** IOTやビッグデータ、ロボット、人工知能等の技術革新やDXによるイノベーション、脱炭素やグリーン化など、産業の変革と成長を目指していく。おおさき産業推進機構の設立や創業支援など、新たな産業の創出に取り組み、産業推進計画が掲げた目標と現状を検証しながら、事業収益の向上、更には市民の所得向上に繋げていく。

**問** 国では子ども家庭庁が令和5年4月

に発足するが、本市子育て支援策の見直しの必要性について伺う。

**答** 新たに実施する伴走型

の出産・子育て応援給付金事業を進める中で、相談支援等の機会を活用して個々の状況を把握しながら、全体的な傾向を導き出す等の取り組みが考えられる。まずは子育て世帯に寄り添った支援を通じて、ニーズの把握にも努めていく。

**問** ボトムアップ型の政策立案やモチベーション向上の為に、職員同士のコミュニケーションに工夫が必要だが、本市の取り組みを伺う。

**答** 職員間のコミュニケーションは、良好な職場環境をつくる上で最も重要だと認識しており、各階層でコミュニケーション技法に関する研修を実施する。人事評価は所属長と職員が面談を通じて人材育成が図られるよう運用している。令和3年度から新たに評価する側と評価され



こども家庭庁のwebサイトはこちら



る側、それぞれの研修を行っており、人事評価に対する納得感を高め、よりよいコミュニケーションが築けるよう支援していく。

**問** 今回の質問を総括すると、時代に合った人材育成をしっかりと行う事で、デジタル技術を使いこなし、更に大崎市に新たな価値や産業を創造する。人口減少社会でも若者や子育て世代に選ばれ、結婚や出産に繋がり、Web2.0、Web3.0のメリットを導入して関係人口も増加させていく、そんな大崎市を目指して欲しいが所見を伺う。

**答** 共に大崎市の未来の為に歩んでいきたい。

## 公 明 党

横山 悦子

### 新庁舎開庁に伴う窓口整備

**問** 来庁者が申請書等を記入する事なく、職員の聞き取りやマイナンバーカード活用等で手続き出来る「書かない窓口」の導入について伺う。

**答** 来庁者の本人確認書類等の読み取りや、職員の聞き取りにより申請書類を作

成する窓口支援システムを開庁時に併せて導入する。

**問** 手続き一括案内お悔みコーナーは、新庁舎開庁時から設置可能か伺う。

**答** ご遺族の不安、各種手続きの利便性を高めるため、新庁舎1階にお悔みコーナーを開設し、複数の職員で対応するほか、電話やウェブサイトによる予約も可能とする。更にお悔みハンドブックを新たに作成する。

**問** 市が保有する公用車が多いほど、車検や法定点検、保険の管理等で職員にかかる業務負担も増加する。稼働率の低い車両を削減し、全庁共用化、公用車管理の適正化について伺う。

**答** 令和4年度から、公用車の稼働状況のデータ化及び公用車の共用化に取り組んでいる。5年度は、新庁舎供用開始により更なる削減となり、財政課で一括管理する事で効率化に繋がる。

### 三本木東部工業団地（三本木SIC）

**問** 交通アクセスの良い工業団地であり、誘致戦略について伺う。

**答** 企業訪問を本格化し、早期誘致に向け取り組み。

# 予算特別委員会

市長提出の令和5年度大崎市一般会計予算をはじめとする12会計の予算及び関連議案について、議長を除く全議会で構成する予算特別委員会を設置し、総務・民生・産業・建設の常任委員会関係分ごとに、5日間に亘り審査を行い、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



## 総務常任委員会所管分

### 一般会計予算概要

**問** 5年度一般会計の予算編成で意を用いた点について伺う。

**答** 一般会計予算総額は、約634億円で前年度比47億円の減額とした。市役所本庁舎等建設事業の終了、ワクチン接種事業等コロナ関連費用の減額が大きな要因である。また、一般財源の枠配分方式を継続すると共に、行財政改革に基づく歳出の適正化に取り組んだ結果である。

### 職員研修事業

**問** ハラスメント研修やDX研修をはじめ、業務上有用な資格取得等について、どの様に考えているか所見を伺う。

**答** 資格取得について支援が必要なものもあると認識している。例えば、建築主事資格等への支援が考えられるが、更なる他の資格についても支援のあり方を検討していきたい。

### ふるさと納税推進事業

**問** 歳入であるふるさと納税の4年度実績は、12月末で約7億7千万円で過去最高となった中、ふるさと納税推進事業の5年度予算は約1億2千万円、前年度比約3千万円減額となった要因を伺う。

**答** 4年度は、1件当たりの平均寄付単価は下がったが件数が伸び、全体としては増えたものである。5年度は、件数は4年度当初と同等の2万件、単価が下がって1万2千円と見込んだため、4年度当初予算と比較し減額となった。

### 教育支援員等配置事業

**問** 5年度は約8千8百万円と、4年度比約1千3百万円の減額となっている要因を伺う。また、学校現場からの要望と充足状況について伺う。

**答** 5年度は、学校の統廃合及び児童数の減少等もあり、教育支援員を87名から80名に減員した。また、語学指導支援員は、所期の目的を達成した事から5年度は皆減とした。一方、学校からの支援員要望等の充足率は、5年度では申請数が112名に対し、配置数は80名であり71.4%である。

### 心のケアハウス事業

**問** 5年度予算1千63万円の内訳と、支援が必要な児童生徒の実人数の推移について伺う。

**答** 総合的な役割を担うスーパーバイザー12名、5年度より配置する学習支援等を担うコーディネーター1名、更に、連携しているフリースクー  
ルに派遣している支援  
員1名、計  
4名の人件  
費である。  
また、支  
援児童生徒  
の実人数の  
推移は、こ  
こ数年35名  
から40名程  
度である。



### デジタル変革

**問** 5年度に新設されるデジタル戦略課および政策アドバイザーの役割を伺う。

**答** デジタル戦略課は、庁内全体の業務効率化を目指す役割を担う情報システム担当と、DX推進の旗振り役として市民サービスのあらゆる分野でDXを浸透させ、市民の利便性向上を目指す役割を担う情報政策担当に分かれており、デジタル戦略課全体で、持続可能なデジタル田園都市実現に向けた役割を担う。また、政策アドバイザーは、これら本市の取り組みに対し、専門的な見地から助言や支援を頂く事が役割である。

### 民生常任委員会所管分

#### 障害者地域活動センター運営事業

**問** 5年度予算は7867万1000円で前年比81万6000円増だが、その内訳と、センターの運営形態について伺う。

**答** 内訳は、市直営のセンター事業所で雇用している会計年度任用職員の報酬改定分が54万円、鹿島台事業所のエアコン更新工事費用29万2000円を計上した。センターの運営形態は、市直営が東部障害者地域活動支援センター（松山・鹿島台・田尻）と西部同（岩出山・鳴子）の2つで、大崎誠心会に委託料を支出して

いるのが三本木障害者地域活動支援センターであり、社会福祉協議会に補助金を支出しているのが古川障害者地域活動支援センター（あしたの広場・ふれあい広場・ひだまり）で、形態が3種類ある。

#### 放課後児童等健全育成事業

**問** 各児童館・放課後児童クラブの民営化について、今まで地域や各団体と連携してきた経緯を踏まえて、運営は引き継がれるのか伺う。

**答** それぞれの放課後児童クラブについて、旧合併前の流れを現在も活動の中で生かしている。今回の業務委託で変えるのは困難なので、現状の活動や支援員の体制をそのまま引き継ぎながら業務委託となる。

#### 在宅医療・介護連携事業

**問** 事業の目的や多職種連携の現状について伺う。

**答** 医療、介護等の関係機関が連携し、退院支援、日常の療養、急変時の対応、看取りの4場面において、多目的の方々の協働による医療と介護を一体的に提供でき

る体制構築を推進し、医療と介護を必要とする高齢者の方々が安心して、いつまでも自宅で住み続けられる事を目的としている。具体的には医療関係者では、医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び理学療法士等で、介護関係者では、ケアマネージャー、ヘルパー及び地域の包括支援センターの職員等になり、連携して医療、介護を進めていく形である。

**問** 主治医・協力医制について、令和3年まではほぼ10名の登録のようだが、5年度何人登録して頂けるのか伺う。

**答** 在宅診療において365日24時間体制で対応する事について、主治医の都合が悪い場合に、副主治医として登録して頂く協力体制を医師会で制度化しており、現在10名の登録となっている。

### 病院事業会計

**問** 昨年導入された手術支援ロボットだが、患者が負担する医療費について伺う。

**答** 手術費で比べると、ロボットの方が高額だが、高額医療の限度額が適用となり、ほぼ、自己負担額は変わらない事になる。

**問** 手術ロボット導入が、医師確保に有

利に働いているか伺う。

**答** 医師の専門性を高めるうえで高度医療は大変重要になってくる。手術ロボットからの医療で術式も含めて標準化され、有効である。



手術支援ロボット（ダビンチ）

### 産業常任委員会所管分

#### 鳥獣被害対策事業

**問** ジビエ処理加工等施設の整備が進められるが、年間の目標捕獲頭数は。

**答** 現在施設整備を進めているが、一部新型コロナウイルス等の影響で資材等の納入遅れが発生しており、指定管理の開始時期については令和5年8月という事で進めている。指定管理が始まってからすぐ出荷というのとはなかなか難しい部分もあるため、秋頃から出荷を始めた。捕獲頭数については、当初300頭を見込んでいたが、月25〜30頭ほどの予想であり、1

20〜130頭ほどを初年度は予定している。

#### 教育旅行推進事業

**問** 4年度予算と比べ減額計上だが、5年度の計画について伺う。

**答** 従来は北海道、東京、関西中部の旅行商談会へ参加してきたが、新型コロナウイルスの影響により商談会の入場制限がされたため、旅費の減額である。近隣の商談会等へも出席を予定しており、減額ではあるが事業の縮小という事ではない。4年度の教育旅行については、既に7校600名に及ぶ学生が訪れている。5年度についても既に3校の教育旅行の予定が入っている。

#### 世界農業遺産推進事業

**問** これまでかけてきた金額を今後どの様に回収する考えか伺う。

**答** 農業部門で生計を立てていく上で重要である持続可能な農業への支援、また生物多様性に恵まれた大崎耕土を守る事により、気候変動等の緩和にも繋げたいが、なかなか成果を数値化する事が難し



い。今までかけた経費を直接的に回収する様な事業は無いが、2030年までにこれらの事業を活かしながら、将来の子ども達にとって良い環境を遺していく為に取り組んでいる。

### 産業創造推進事業

**問** おおさき産業推進機構の効果をどの様に予測しているのか。

**答** 各関係機関や各専門支援機関と連携を強化する事で機構が触媒となり、更なる支援の加速、強化に繋がると考えている。当面は事業の再構築や過剰債務の縮小、事業再生に関する相談が多いと考えるため、関連機関との連携を強化する。今後、基本計画を作る中で、関係機関、そして経営者から聞き取りを行い、ニーズに則した専門的な支援のコーディネートと連携体制等について構築したい。



大崎市産業支援のあり方に関する検討委員会

### 予算特別委員会

## 建設常任委員会所管分

### 道路橋りょう維持費

**問** 事業内容と増額内容について伺う。

**答** 道路橋りょう維持費は、道路維持に係る維持補修経費の他に道路橋りょう除雪等事業、社会資本整備道路修繕事業、社会資本整備雪寒地域道路事業、橋りょう長寿命化修繕事業の事業費となる。

事業内容は、パトロール、道路維持補修業務、道路舗装改良工事、社会資本整備交付金や公共施設等適正管理推進事業債を活用した舗装修繕工事、除雪等業務、防雪柵設置工事、橋りょうの点検業務や修繕工事となる。

増額内容は、橋りょう長寿命化修繕事業における点検橋りょう数が増え、交付金を活用した社会資本整備道路修繕事業でも、4年度予算は計上となっていないため、5年度分が全額増額となった。

### 公園維持管理経費

**問** 予算が大きいのが、所管している公園は何か所あるのか。また、維持管理状況を伺う。

**答** 公園維持管理経費

は、建設部所管の都市公園37箇所、条例公園46箇所、宮城県から委託されている化女沼周辺緑地の計84箇所の維持管理に必要な経費を計上し、管理を行っていく。遊具点検に加え東屋やベンチ等の点検も実施しており、遊具更新と調整を図り、付属施設も計画的に修繕を行っていく。



新しく整備された複合遊具（古川地域）

### 緊急浚渫推進事業

**問** 6年度までの計画事業であるが、5年度の見通しと進捗率について伺う。

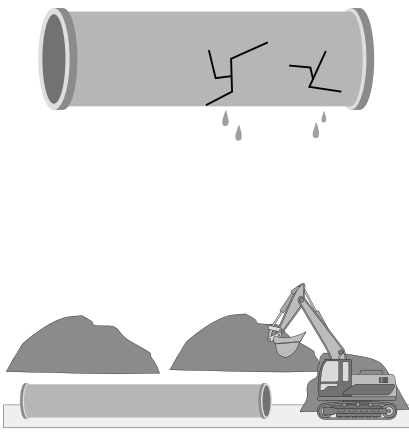
**答** 緊急浚渫推進事業は、浸水被害が相次ぐ中、河川の維持管理として浚渫が重要であり、緊急的に河川などの浚渫を実施出来る様に2年度に創設した事業である。本市では、5年度は、市内全域の30箇所浚渫を予定している。

## 配 水 費

進捗率は、27・6%で計画どおり浚渫している河川もあるが、場所によって土量や施工条件が違ったり、計画以外の要望箇所の浚渫も行っているため、費用がかさみ目標土量を下回っている。今後6年度に向けて計画の見直しも必要である。予算の中で、浸水被害の軽減に努めている。

**問** 配水管の整備と老朽管の更新について伺う。

**答** 配水管の整備については、道路整備に伴う配水管の新設と自己水源からの切り替え解消及び布設整備を行っている。老朽管の更新も計画に基づき重要度、漏水頻度、管種など総合的に取り組む。



## 討論 議案第3号 令和5年度大崎市一般会計予算の修正案について

(修正案概要) 農林業系汚染廃棄物焼却処理事業関係予算を全額削減するというもの

### 修正案に反対、原案に賛成の討論

農林業系汚染廃棄物を家庭ごみ等の一般廃棄物と混焼することで、放射性物質を有機物と切り離し、無機物に付着させることにより安定させると共に減容化し、最終的に一般廃棄物の管理型最終処分場に封じ込め、我々の生活圏に影響を与えない状態にするものであり、これまで積み上げてきた安全基準を遵守し、着実に処理すべきと考え、修正案に反対し原案に賛成する。

### 修正案に賛成、原案に反対の討論

焼却処理による放射能汚染や人体への影響の不安から、現在、仙台地方裁判所で係争中のことなので焼却処理は一時中止すべきである。また、国の責任で処理すべき汚染廃棄物を市が代わって処理する予算が含まれており、受入先の自治体住民に知らずに焼却処理する事は絶対に許されるべきではないと考え、修正案に賛成し、原案に反対する。

## 予算特別委員会委員長報告要旨

本委員会は、議案第3号から同第34号までの32か件の議案を付託され、正副委員長互選の後、5日間に亘り委員会を開催しました。

所管常任委員会関係分毎に会派で質疑を行い、延べ48人の委員が質疑に立ち、論議致しました。

そして、2月27日に、議案第3号令和5年度一般会計予算に対し、農林業系汚染廃棄物焼却処理事業関係予算を減額する修正案が提出され、反対、賛成の立場から討論があり、表決の結果、修正案は否決となり、原案可決すべきものとなりました。

ほか31か件については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。更に、議案第3号令和5年度一般会計予算に附帯決議案が提出され、表決の結果、全会一致で可決致しました。

### 情報化対策特別委員会行政視察報告

情報化対策特別委員会では、令和5年3月に、岩手県奥州市においてオンライン会議について、遠野市では議会だより、議会公式フェイスブックについて、それぞれ行政視察を行いました。

奥州市では、オンライン会議をはじめ、議会でのICT化推進事例を紹介して頂きました。また、議会改革はスピードを重視しており、課題が出たら対応している現状でした。

遠野市では議会だよりについて調査をし、市民にいかに議会だよりを手にとってもらい、そして読んでもらうか、様々な試行錯誤を重ねてきた事が伝わる視察研修でした。

今回の調査を踏まえ、従来のやり方にこだわらず、今の時代の進め方や考え方、ニーズに沿った新しい形を模索していく必要性を強く



オンライン会議の調査視察（岩手県奥州市）

### 議会の主な動き

感じる事が出来た視察研修でした。

### 議会の主な動き

#### 3月

- 3日 閉場式
- 14日～15日 情報化対策特別委員会（行政視察）
- 20日 議会運営委員会
- 20日 議員全員協議会

#### 4月

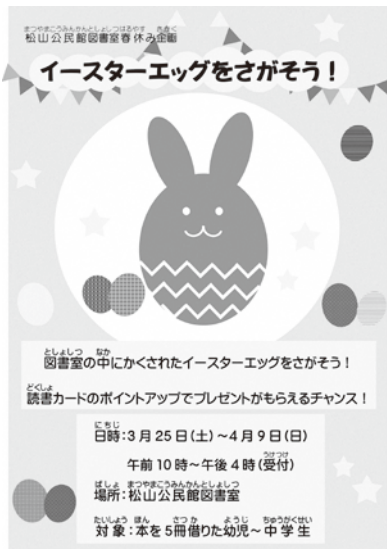
- 24日 特別委員会
- 24日 情報化対策特別委員会
- 5日 会派代表者会議
- 7日 情報化対策特別委員会
- 20日 総務常任委員会
- 25日 総務常任委員会
- 28日 議場システム操作研修会
- 28日 議会運営委員会



### 表紙の写真

今号の表紙の写真は、松山公民館図書室のご協力により、イースターエッグをさがそう！という春休み企画の写真です。図書室の中のイースターエッグを探し出すと、読書カードのポイントがもらえます。

今年3月25日から4月9日まで行われ、多くの家族が来館されました。楽しんで図書室に来てもらいたいとの思いから毎年開催されています。子ども達が図書室に行き、良い本に触れる事は、心の栄養に繋がります。コロナによる制限が緩和され、とても素敵な笑顔が輝いていました。



閉 場 式

令和5年5月8日の新庁舎供用開始に伴い、平成18年の合併から17年間使用してきた三本木庁舎4階にある議場の閉場式を、3月3日第1回定例会終了後に開催しました。

式では、議長、市長からの挨拶、また歴代正副議長8名からの思い出が語られました。

最後に、記念撮影をして閉場としました。



閉場式後の記念撮影

映 画 視 聴 会

令和元年6月に議員発議により「大崎市障がいのある人のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」を制定しました。

本市議会では、障がいのある人の理解をより深めるため、全日本ろうあ連盟で制作したドキュメンタリー映画の視聴会を2月20日に開催致しました。



視聴会の様子

日 台 友 好 交 流

令和5年2月に、台湾の台北駐日経済文化代表処の李世丙副代表が議会を表敬し、日本と台湾の経済について講演を頂きました。友好を深めました。



李世丙副代表（左から2人目）

編 集 を 終 え て

令和5年2月から3月にかけて開催された第1回定例会では、会派代表質問や予算質疑等、市政課題全般について議論が交わされ、5年度予算案が可決成立しました。

昨年の改選により、大崎市議会の議員構成、情報化対策特別委員会のメンバー構成はこれまで以上に多様になりました。この1年は、その多様性を活かし、議会活動を正確に分かりやすく皆様にお伝えし、また議会を多世代の皆様身近に感じて頂くため、議会広報のあり方について議論、編集にあたる事に努めた1年であったと振り返っております。

引き続き、議会だよりが皆様に議会活動を知って頂き、市政を共に考えて頂ける機会となる事を目指し取り組んで参ります。

加川 康子

◆ 情報化対策特別委員会 ◆

- |      |       |    |       |
|------|-------|----|-------|
| 委員長  | 鹿野 良太 | 委員 | 山田 匡身 |
| 副委員長 | 石田 政博 | 委員 | 早坂 憂  |
| 委員   | 小玉 仁志 | 委員 | 加川 康子 |
| 委員   | 加川 康子 | 委員 | 後藤 錦信 |
| 委員   | 中鉢和二郎 |    |       |